

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	生野区
学 校 名	東桃谷小学校
学校長名	末綱 健二

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・東桃谷小学校では、第6学年 31名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

○平均正答率において、国語では大阪市平均を5ポイント、全国平均を6.8ポイント下回っている。領域別で見ると、「情報の扱い方に関する事項」において、大阪市平均、全国平均をそれぞれ、4.1ポイント、1.4ポイント上回り、他の領域では大阪市平均、全国平均を2.5～10.4ポイント下回っている。○算数では、大阪市平均を2ポイント、全国平均を2ポイント下回った。領域別では、「図形」は大阪市平均、全国平均をそれぞれ0.1ポイント、0.3ポイント上回っている。他の領域で大阪市平均、全国平均を1.6～3.8ポイント下回っている。○理科では、大阪市平均を4ポイント、全国平均を6.1ポイント下回っている。領域別でも大阪市平均、全国平均を2～9.3ポイント下回っている。平均無回答率は、各教科とも大阪市平均、全国平均と比して高くなっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「情報の扱い方に関する事項」については、情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかについては一定の成果が見られた。しかし、読むこと、特に叙述や描写を基に、登場人物の行動や気持ち、相互関係について捉えることには課題が見られた。自分が教材のどの文から、どのように読みとったのかを話したり書いたりする活動を続けていく必要がある。

〔算数〕全国平均、大阪市平均と比して正答率が上回っていたり、大きく差がない問題があるものの、領域別でみると、「数と計算」の正答率が低かった。特に求め方や考え方を記述する問題に関して、正答率が低く無回答率も高い。基本的な計算はできるが、その式の意味や求め方を説明したり書いたりする力に弱さが見られる。

〔理科〕全体的に正答率が低い、特に、実験や観察の結果を他者の気付きや問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題が見られる。

質問調査より

○朝食の喫食・起床の時刻の設問からは、基本的な生活習慣が身につけていることがわかる。○「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」の問いについては、肯定的な回答する児童の割合が、大阪市平均・全国平均と同様もしくはやや下回っている。自尊感情や自己肯定感が向上するよう結果よりも過程を重視しながら、各個人の課題解決に向かう頑張りが認められるという機会を数多く増やしていく手立てが必要である。○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」の設問にも、「当てはまる」と回答する児童の割合が大阪市平均・全国平均とほぼ同様である。○読書に関しては、「読書は好きですか」の設問に肯定的に回答する児童の割合は高い。○これまでの授業の経験を尋ねる設問では、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」に対する肯定的な回答の割合はやや低い傾向がみられた。話し合い活動にも若干の課題が残った。

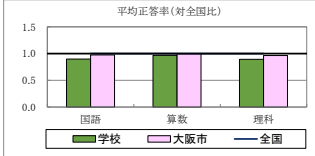
今後の取組(アクションプラン)

国語に関しては、基礎的・基本的事項を一定身につけ、発展的な学習に取り組むこともできてきている。算数・理科については、基礎的・基本的事項の定着に一層取り組む必要がある。現在、重点的に取り組んでいる「主体的で対話的な深い学び」の実現に向け、日々の授業を工夫するとともに、校内研修を充実させ、授業研究の積み重ねによる成果の積み上げを図っていく。特に児童の学ぶ意欲の向上に重点をおき、課題追究に対する意欲を継続させる授業を展開していく。めあて、ふりかえりを毎時間設定するとともに、めあてが与えられためあてではなく児童の疑問や気付きから生まれたものになるようにすることが必要である。そのための実践を校内をあげて推進していく。また、現在実施している研究の通り、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習展開を、全教科・領域にわたり実施していく。また、教科横断的な学びを積極的に設定し、思考力・判断力・表現力の育成を図っていく。その中で、自ら課題を見出し、解決していく主体的な課題解決学習の過程を通して学び方を身につけるようにしていく。さらに、資料活用能力を向上するため、さらに図書館の活用と児童の読書量を増やす取り組みを継続する。

【 全体の概要 】

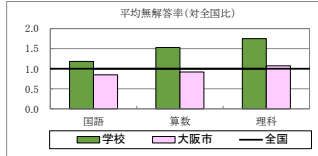
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	60	56	51
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



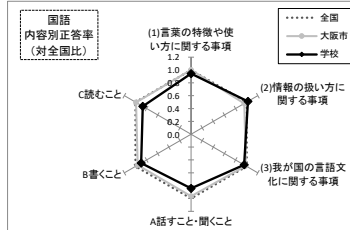
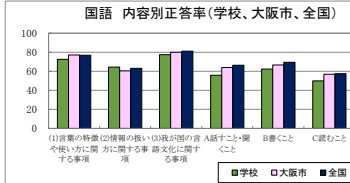
平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	3.9	5.5	4.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



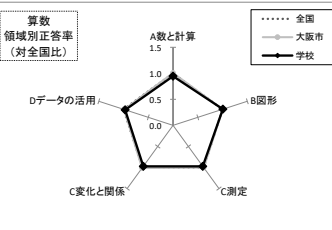
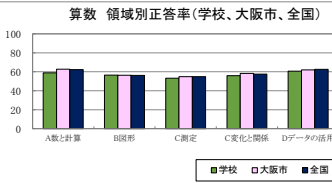
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)	学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	72.6	77.1	76.9	
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	64.5	60.4	63.1	
(3)我が国の言語文化に 関する事項	1	77.4	79.9	81.2	
A 話すこと・聞くこと	3	55.9	64.0	66.3	
B 書くこと	3	62.4	66.7	69.5	
C 読むこと	4	50.0	56.9	57.5	



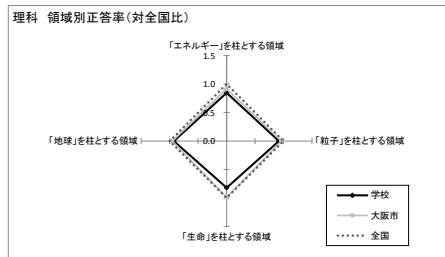
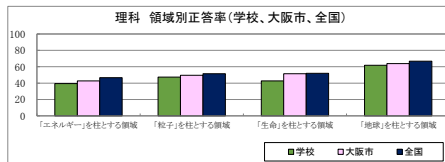
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)	学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	58.9	62.7	62.3	
B 図形	4	56.5	56.4	56.2	
C 測定	2	53.2	54.9	54.8	
C 変化と関係	3	55.9	58.2	57.5	
D データの活用	5	60.6	61.9	62.6	



【 理 科 】

学習指導要領の区分・領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)	学校	大阪市	全国
A 区分					
「エネルギー」を柱とする領域	4	39.5	42.7	46.7	
「粒子」を柱とする領域	6	47.3	49.5	51.4	
B 区分					
「生命」を柱とする領域	4	42.7	51.4	52.0	
「地球」を柱とする領域	6	61.8	63.8	66.7	



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

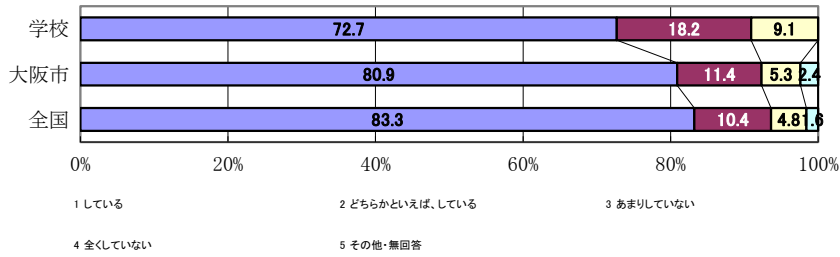
4

5

6

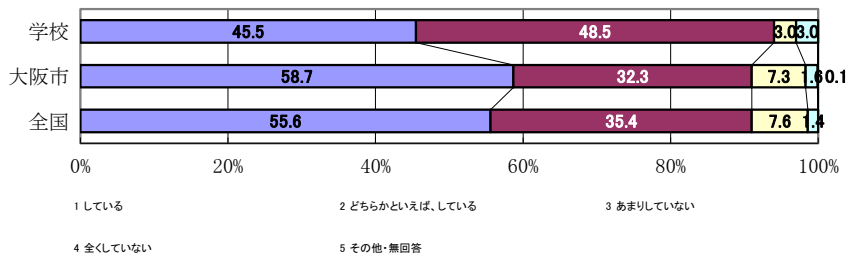
7

8



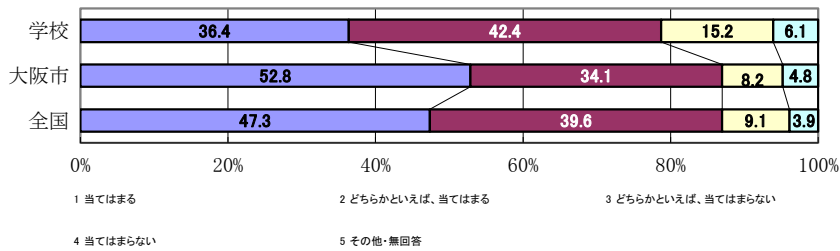
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



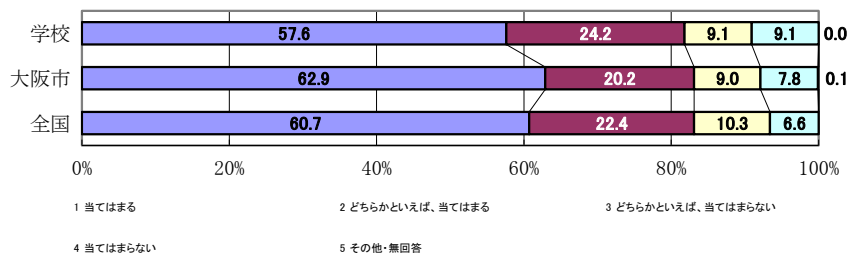
5

自分には、よいところがあると思いますか



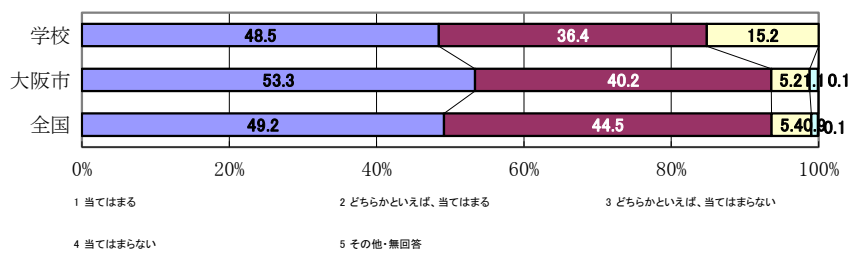
7

将来の夢や目標を持っていますか



8

人が困っているときは、進んで助けていますか



児童質問より

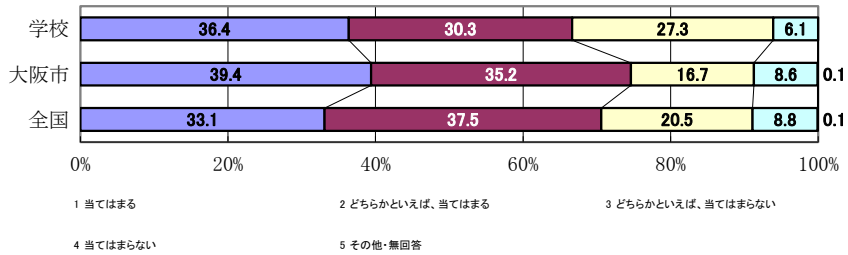
質問番号

質問事項

10

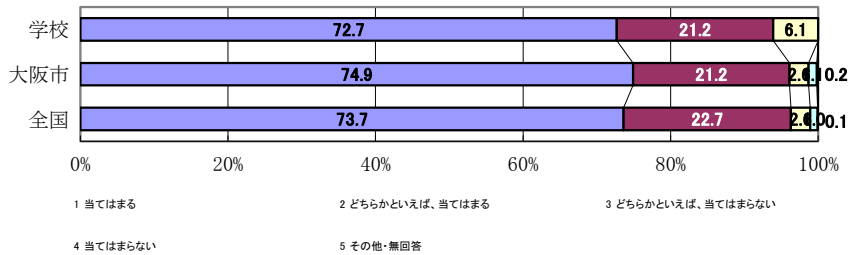
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

1 2 3 4 5 6 7 8



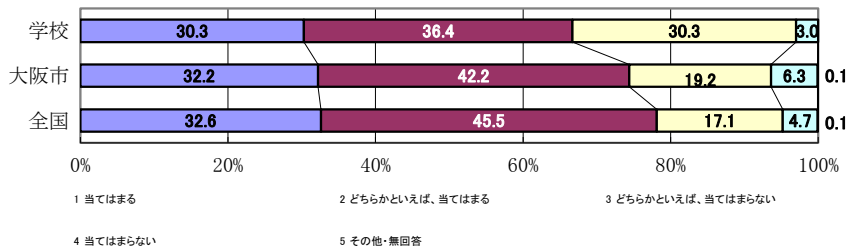
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



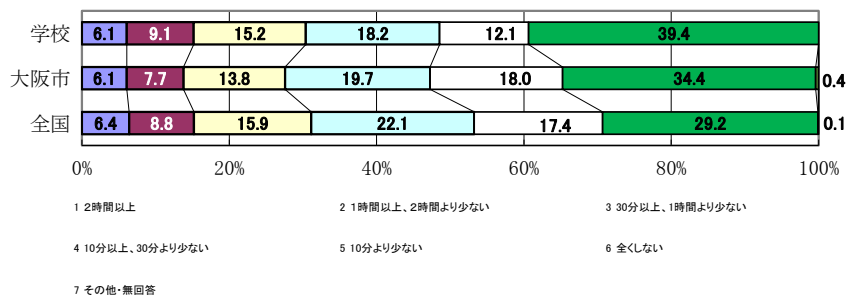
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



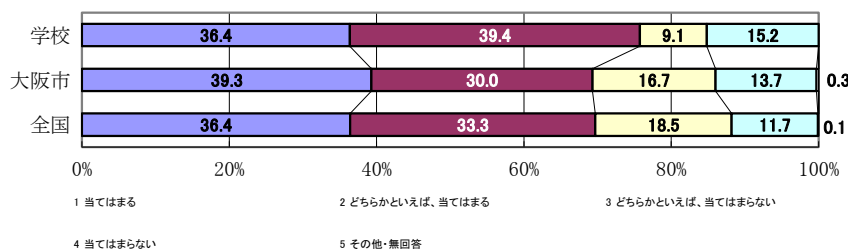
21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



24

読書は好きですか



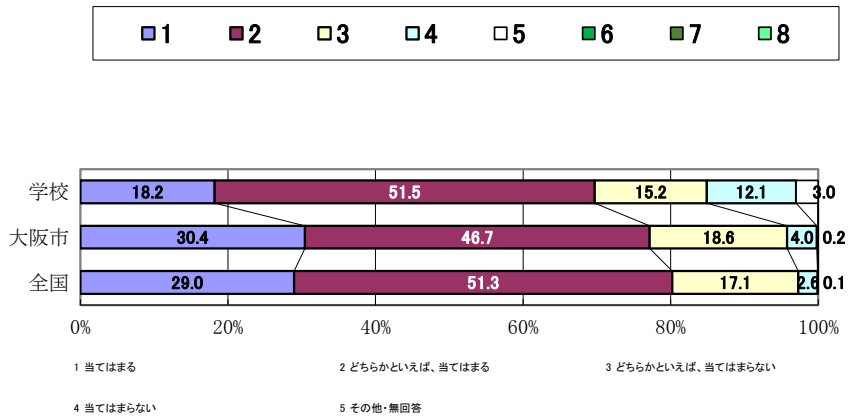
児童質問より

質問番号

質問事項

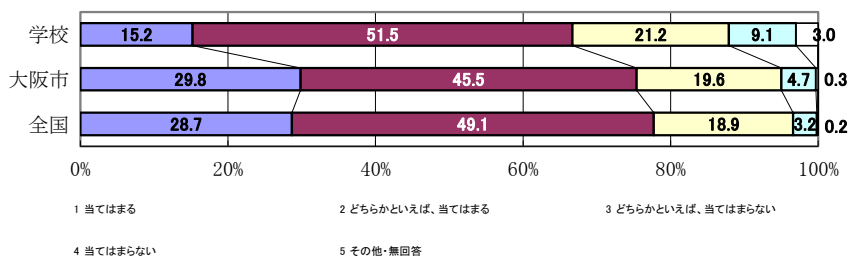
32

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



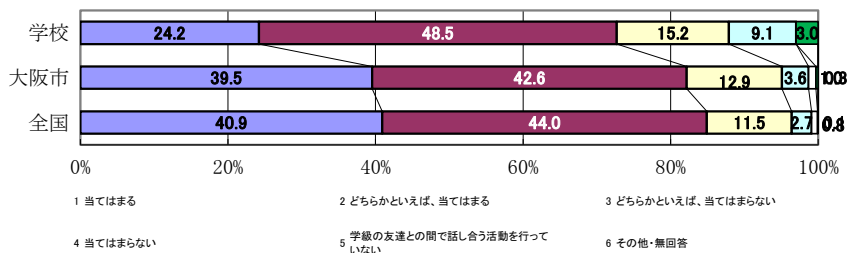
33

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



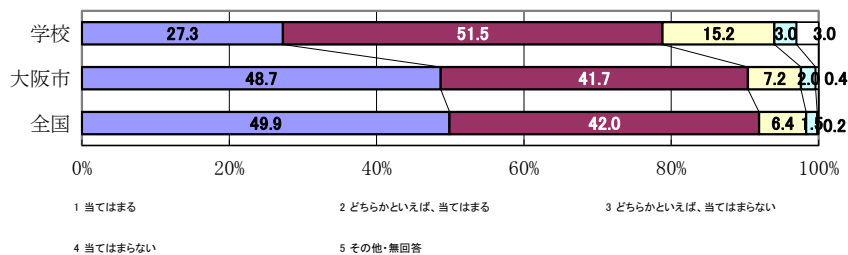
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



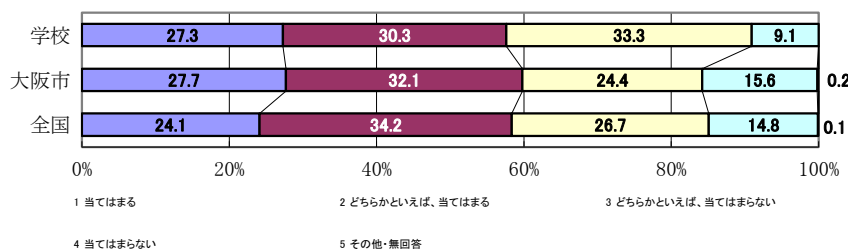
39

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



45

国語の勉強は好きですか



児童質問より

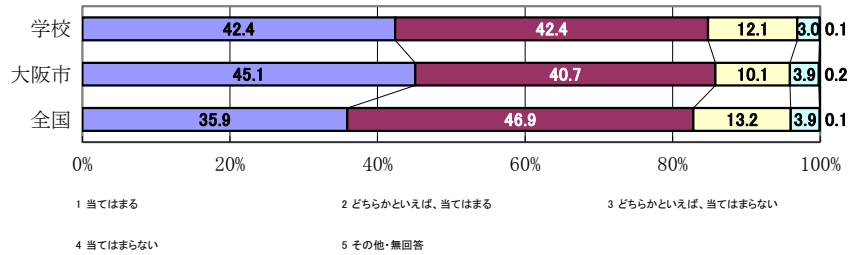
質問番号

質問事項

46

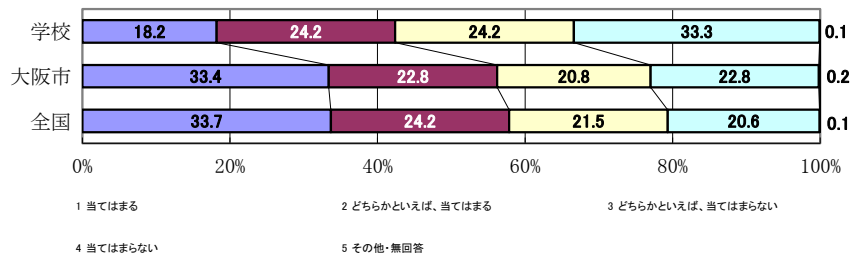
国語の授業の内容はよく分かりますか

1 2 3 4 5 6 7 8



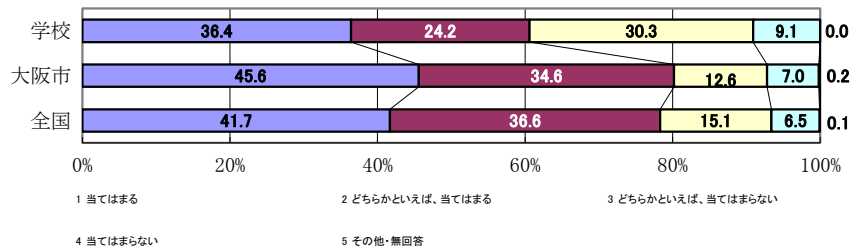
53

算数の勉強は好きですか



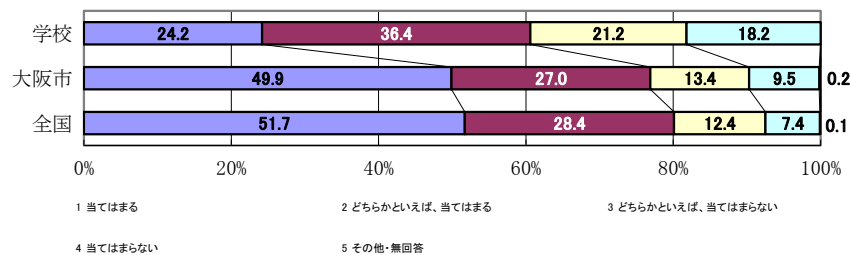
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



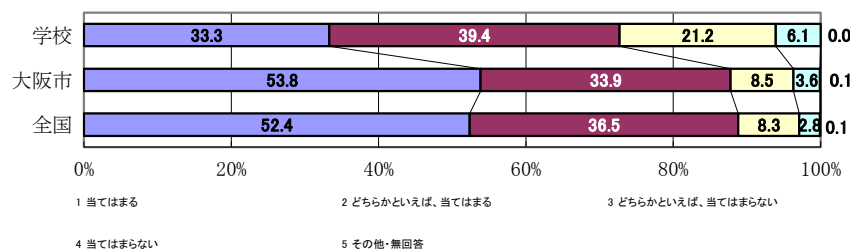
61

理科の勉強は好きですか



62

理科の授業の内容はよく分かりますか



学校質問より

質問番号

質問事項

11

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

63

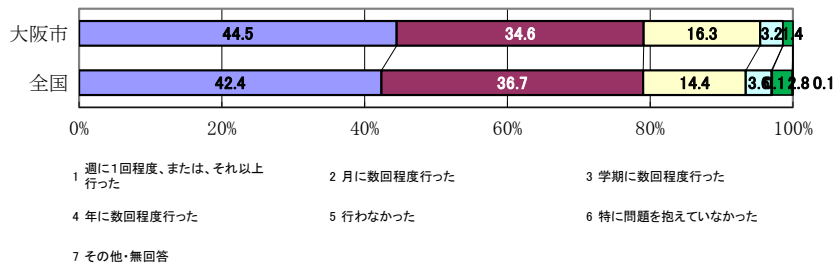
調査対象学年の児童が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

81

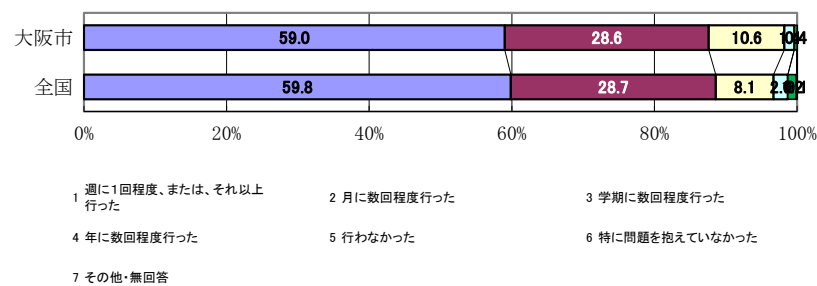
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

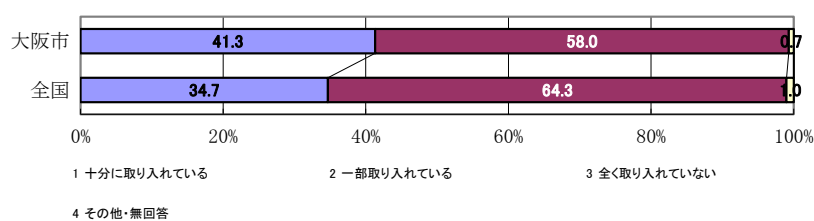
学校 「月に数回程度行った」を選択



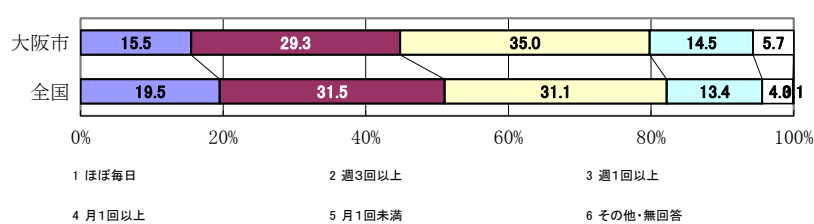
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



学校 「十分に取り入れている」を選択



学校 「週3回以上」を選択



学校 「どちらかといえば、行った」を選択

